

仙台高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	建築設計製図Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0008			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	実験・実習			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	建築デザインコース			対象学年	3		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	特になし。適宜参考資料を紹介する。						
担当教員	坂口 大洋,相模 誓雄,伊師 華江,菊池 義浩,楠 拓也						
到達目標							
・ 建築設計製図のスキルを使い、住宅及び小規模な施設の設計及び製図ができる。 ・ スケッチアップを使い、建築やランドスケープの三次元モデルが作成できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
建物と敷地の3D表現		的確に3D表現できる		最低限3D表現できる		3D表現したものが、他者から理解されない	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	建築設計に必要な知識と技術を課題を通して身につける						
授業の進め方・方法	予習：特になし 復習：常にスケジュールを確認して進めること。時間内に終わらない演習については授業時間外でも取り組むこと						
注意点							
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス 名作のトレース（1）		授業のねらい、スケジュール、進め方を確認する。 設計趣旨、スケジュール、製作物について確認する。 吉村順三・軽井沢山荘について理解を深める。		
		2週	名作のトレース（2）		平面図を製作する。		
		3週	名作のトレース（3）		平面図・矩計図を製作する。		
		4週	名作のトレース（4）		矩計図を製作する。		
		5週	名作のトレース（5） 展示空間の設計（1）		図面を提出し、講評を受ける 設計趣旨、スケジュール、製作物について確認する。		
		6週	展示空間の設計（2）		エスキス・製作		
		7週	展示空間の設計（3）		エスキス・製作		
		8週	展示空間の設計（4）		エスキス・製作		
	2ndQ	9週	展示空間の設計（5）		模型を用いてプレゼンテーションする。		
		10週	ギャラリーの設計（1）		設計趣旨、スケジュール、製作物について確認する。		
		11週	ギャラリーの設計（2）		エスキス・製作		
		12週	ギャラリーの設計（3）		エスキス・製作		
		13週	ギャラリーの設計（4）		エスキス・製作		
		14週	ギャラリーの設計（5）		模型を用いてプレゼンテーションする。		
		15週	夏休み課題		夏休み課題の趣旨、成果物を確認する		
		16週					
後期	3rdQ	1週	戸建住宅の設計（1）		設計趣旨、スケジュール、製作物について確認する。		
		2週	戸建住宅の設計（2）		対象敷地の現地調査、敷地図・敷地模型の製作。 エスキース・製作		
		3週	戸建住宅の設計（3）		コンセプトを決定する エスキース・製作		
		4週	戸建住宅の設計（4）		規模・配置を決定する エスキース		
		5週	戸建住宅の設計（5）		エスキース・製作		
		6週	戸建住宅の設計（6）		エスキース・製作		
		7週	戸建住宅の設計（7）		プレゼンボードと模型を用いてプレゼンテーションする。		
		8週	集合住宅と店舗の複合施設の設計（1）		設計趣旨、スケジュール、製作物について確認する。		
	4thQ	9週	集合住宅と店舗の複合施設の設計（2）		対象敷地の現地調査、敷地図、敷地模型の製作。エスキース		
		10週	集合住宅と店舗の複合施設の設計（3）		コンセプト、ダイアグラムを決定する エスキース		
		11週	集合住宅と店舗の複合施設の設計（4）		配置計画・ボリューム模型の製作・エスキース		
		12週	集合住宅と店舗の複合施設の設計（5）		エスキース		

		13週	集合住宅と店舗の複合施設の設計（６）	住戸内のプランニング・エスキース
		14週	集合住宅と店舗の複合施設の設計（７）	製作・エスキース
		15週	集合住宅と店舗の複合施設の設計（８）	プレゼンボードと模型を用いて、プレゼンテーションする。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	設計・製図	製図用具の特性を理解し、使用できる。	4	
				立体的な発想とその表現(例えば、正投象、単面投象、透視投象などを用い)ができる。	4	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	50	0	50
専門的能力	0	0	0	0	50	0	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0